

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 25 日 (2020.6.25)

【公表番号】特表 2019-519519 (P2019-519519A)

【公表日】令和 1 年 7 月 11 日 (2019.7.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-027

【出願番号】特願 2018-560887 (P2018-560887)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

切除不能または転移性の B R A F 6 0 0 突然変異陽性メラノーマを有する対象を処置するための、B V D - 5 2 3 または薬学的に許容されるその塩を含む組成物であって、前記組成物が、6 0 0 m g の B V D - 5 2 3 または薬学的に許容されるその塩の用量で B I Dで前記対象に投与されることを特徴とする、組成物。

【請求項 2】

前記突然変異が B R A F ^{V 6 0 0 E} 突然変異である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

哺乳動物が、ヒト、霊長類、畜産動物および家畜からなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

哺乳動物がヒトである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記メラノーマが M A P K 活性を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

切除不能または転移性の B R A F 6 0 0 突然変異陽性メラノーマを有する対象を処置するための組成物であって、B V D - 5 2 3 または薬学的に許容されるその塩の 6 0 0 m g、および任意選択で薬学的に許容される担体、アジュバントまたはビヒクルを含む、組成物。

【請求項 7】

前記対象が哺乳動物である、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

哺乳動物が、ヒト、霊長類、畜産動物および家畜からなる群から選択される、請求項 6

に記載の組成物。

【請求項 9】

哺乳動物がヒトである、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記メラノーマが M A P K 活性を有する、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記突然変異が B R A F ^{V 6 0 0 E} 突然変異である、請求項 6 に記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

本発明の別の実施形態は、切除不能または転移性の B R A F 6 0 0 突然変異陽性メラノーマを有する対象を処置するための組成物であって、B V D - 5 2 3 または薬学的に許容されるその塩の 6 0 0 m g、および任意選択で薬学的に許容される担体、アジュバントまたはビヒクルを含む組成物である。

本発明は、例えば以下を提供する。

(項目 1)

切除不能または転移性の B R A F 6 0 0 突然変異陽性メラノーマを有する対象を処置する方法であって、B V D - 5 2 3 または薬学的に許容されるその塩を 6 0 0 m g B I D で前記対象に投与することを含む、方法。

(項目 2)

前記突然変異が B R A F ^{V 6 0 0 E} 突然変異である、項目 1 に記載の方法。

(項目 3)

哺乳動物が、ヒト、霊長類、畜産動物および家畜からなる群から選択される、項目 1 に記載の方法。

(項目 4)

哺乳動物がヒトである、項目 1 に記載の方法。

(項目 5)

前記メラノーマが M A P K 活性を有する、項目 1 に記載の方法。

(項目 6)

切除不能または転移性の B R A F 6 0 0 突然変異陽性メラノーマを有する対象を処置するための組成物であって、B V D - 5 2 3 または薬学的に許容されるその塩の 6 0 0 m g、および任意選択で薬学的に許容される担体、アジュバントまたはビヒクルを含む、組成物。

(項目 7)

前記対象が哺乳動物である、項目 6 に記載の組成物。

(項目 8)

哺乳動物が、ヒト、霊長類、畜産動物および家畜からなる群から選択される、項目 6 に記載の組成物。

(項目 9)

哺乳動物がヒトである、項目 6 に記載の組成物。

(項目 10)

前記メラノーマが M A P K 活性を有する、項目 6 に記載の組成物。

(項目 11)

前記突然変異が B R A F ^{V 6 0 0 E} 突然変異である、項目 6 に記載の組成物。